2025年(令和7年)6月16日(月曜日) (昭和21年7月30日 第三種郵便物認可) 金属産業新聞 第4187号 週刊(毎週月曜日発行) (2)

時評 EDITORIAL 2025.06.16

停滞感が続く時こそ、社内課題の解決を

25年も気がけば折り返しを迎えようとしているが産業界にとっては依然として考えづらい景況感が続いている。

6月初めには米国が鉄鋼・アルミ製品に対する追加関税を発動しており、自動車をはじめ鉄鋼製品を使う関連産業への影響が懸念されている。製造業が落ち込みを見せる一方でサービス業は一時よりは用意が進んでいるとはいえまだ安基調の恩恵を受けているインバウンド関連が好調で日本政府観光局によると今年4月の訪日外客数は過去最高となる39〇万人余を記録したとのことである。関西では大阪・関西万博がインバウンドをけん引しており大阪観光局によると4月は同じく外国人観光客が過去最高を記録したとのこと。

思い返すとコロナ禍の打撃を受けていた状態が続いている。金額ではいまだに前年比で増加している月も見られるが物価高騰による影響と見て良いろう。なお輸入については4月東京で開催されるMF展は最比技術と分野にお知名度の高い専門展として活用しており、鉄鋼業界に関係するところは住宅機械や関連する設備・技術が毎回展示されている。コロナ禍の最中行われた21年のオンライン展を経て現地開催となった前回(2023年)はカーボンニュートラルやロボットの活用を通じた自動化、IoTの導入といったレンドが見られたが今回の展示内容にも注目をしたい。なお2年前に行われた際はEVへの関心が非常に高かったが車の電動化が鍛工機械のトレンドにどのような影響を与えているのかについても改めて注目したいところである。

「MF-TOKYO」も同じく来月東京で開催されるが業界のトレンドや動向を掴む場として活用したいところ。なお輸入については4月～3月までの実績のうち4月～3月はそれぞれ数量・金額共に前年比で増加しているが一方で2月は数量は横ばいとなっている。コロナ禍の最中行われた21年のオンライン展を経て現地開催となった前回(2023年)はカーボンニュートラルやロボットの活用を通じた自動化、IoTの導入といったレンドが見られたが今回の展示内容にも注目をしたい。なお2年前に行われた際はEVへの関心が非常に高かったが車の電動化が鍛工機械のトレンドにどのような影響を与えているのかについても改めて注目したいところである。

25年も気がけば折り返しを迎えようとしているが産業界にとっては依然として考えづらい景況感が続いている。

6月初めには米国が鉄鋼・アルミ製品に対する追加関税を発動しており、自動車をはじめ鉄鋼製品を使う関連産業への影響が懸念されている。製造業が落ち込みを見せる一方でサービス業は一時よりは用意が進んでいるとはいえまだ安基調の恩恵を受けているインバウンド関連が好調で日本政府観光局によると今年4月の訪日外客数は過去最高となる39〇万人余を記録したとのことである。関西では大阪・関西万博が開催されており大阪観光局によると4月は同じく外国人観光客が過去最高を記録したとのこと。

平戸理事長(平戸製作所)が続投

関鋲 世界情勢を注視しよう

関東鋲螺訂工業協同組合(平戸真理理事長=㈱平戸製作所)は、5月27日にゴールデンスパニューオータニ(東京都千代田区)で第75回通常総会を開催した。役員改選では平戸理事長の続投が決定した。懇親会での挨拶において平戸理事長は、「アメリカの関税引き上げ、ウクライナ情勢、パレスチナ情勢に加え、中国では洪水が発生しており、世界への製供給に不安がある。遠方で起きている出来事がどのように影響するかを注視し、産業のフィールドを守る必要がある」と述べた。

総会で承議・承認され、決算報告、監査報告、収支予算、経費の賦課および徴収方法(事業計画)、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、会員18名中17名が出席した定款強会を開催する。講師は秋山孝広氏(㈱アキテック)と小澤英樹氏(㈱青戸製作所)が務める。26年2月には名古屋で新年会を実施する。

初代会長に就任した森雄一氏(森鋼材㈱)は挨拶の中で、「本会は、若手が自ら学び、繋がり、楽しく成長できる組織を築くという思いから発足した。親会が(初代)とすれば、我々は(二代目)であり、『セカンド』という名称はその意が込められている。今は親会に支えられているが、いずれは我々が支える存在たりたい」と抱負を述べた。親子関係や職場での悩みなど、日頃では語りにくい本音を有効に活用し、誰もが積極的に関われる「開かれた会」を目指す姿勢を強調した。

組織のモットーには「本音・学び・親睦」を掲げ、A1やI-T、自動車業界の変化に対応した新たな取組を進めていくことを望む」と語り、乾杯の音頭を取った。中締めは「柳副理事長が務めた。

平戸理事長

芝崎前副理事長

JFMA若手組織「Second」発足

業界の次世代集結、未来を繋ぐ

建築用アンカーボルトメーカー協議会(JFMA)の設立総会が6月6日、天震博物館(大阪市北区)で開催された。

参加者全員で

挨拶する森会長

「JFMA Second(セカンド)」と称し、業界の次代を担う若手経営者や後継者が一堂に会し、新たなスタートを切った。

総会では冒頭、小澤舞里子氏(㈱青戸製作所)が議長に選出され、その後、第1号議案(役員選出)、第2号議案(役員選出)、第3号議案(事業計画案)の各議案が審議され、いずれも満場一致で承認された。

2025年度の事業計画は、設立総会に続き、10月21日に東京で「JFMAの歴史」をテーマとした勉強会を開催する。講師は秋山孝広氏(㈱アキテック)と小澤英樹氏(㈱青戸製作所)が務める。26年2月には名古屋で新年会を実施する。

初代会長に就任した森雄一氏(森鋼材㈱)は挨拶の中で、「本会は、若手が自ら学び、繋がり、楽しく成長できる組織を築くという思いから発足した。親会が(初代)とすれば、我々は(二代目)であり、『セカンド』という名称はその意が込められている。今は親会に支えられているが、いずれは我々が支える存在たりたい」と抱負を述べた。親子関係や職場での悩みなど、日頃では語りにくい本音を有効に活用し、誰もが積極的に関われる「開かれた会」を目指す姿勢を強調した。

組織のモットーには「本音・学び・親睦」を掲げ、A1やI-T、自動車業界の変化に対応した新たな取組を進めていくことを望む」と語り、乾杯の音頭を取った。中締めは「柳副理事長が務めた。

ZEH市場、30年度に14兆円規模へ

矢野経済研究所

(㈱)矢野経済研究所(東京都中野区)は5月9日、国内のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)市場に関する最新調査結果を発表した。2023年度のZEH市場規模(建築物の工事費ベース)は前年度比61・4%増の6兆5772億円に達し、今後も成長が見込まれている。

同年の市場内訳では、戸建ZEHが約4割、集合ZEHが約6割を占めた。特に集合ZEHの伸びが顕著で、過去3年間(21～23年度)の年平均成長率(CAGR)は163・5%と急拡大。戸建ZEHは同19・1%と安定成長を見せた。背景には、大手マンションデベロッパーによるZEHの標準化が挙げられる。

政府が定めた「エネルギー基本計画」では、30年度までに住宅の省エネ基準をZEH水準へ引き上げる方針が示されており、これに対応する形で住宅業界ではZEH Oriented以上の水準を加速基準とする動きが加速している。この政策動向が、今後の市場成長を後押しする格好だ。調査によると、ZEH市場は30年度に14兆円、35年度には17兆2700億円規模に拡大すると予測。30年度までのCAGRは11・4%、30～35年度は同4・3%と堅調な成長が続く見通し。

長期的には人口減少や住宅供給過多の影響で新設住宅着工数の減少は避けられないとしつつも、政府が掲げる「2050年までに設備が合理的なすべての建築物に太陽光発電(PV)を導入する」という目標により、ZEH Oriented以上の水準は引き続き拡大が進むと指摘。

特に集合住宅では、ZEH Oriented以上の水準を満たす住戸の比率が今後、ZEH Ready、Nearly ZEHへの進化が求められ、建材や設備の高性能化により建築コストの増大を避けられない見通しだ。

新社長に

小嶋正樹氏

ニッセンファスニング

(㈱)大阪府東(大阪市)は6月2日付で、小嶋正樹氏が代表取締役社長に就任した。前社長の山口眞一氏は、代表取締役会長に就任した。あわせて新たな役員も選出し、以下の通り就任した(敬称略)。

▽代表取締役会長=山下眞▽代表取締役社長=小嶋正樹(新任)▽取締役=村上信弘(同=総務)▽同=本間智之(新任)▽同=藤原勝義(新任)▽監査役=土屋真希

中島田正徳氏

中島田鉄工所会長

(㈱)中島田鉄工所(福岡県広川町)会長の中島田正徳氏が5月31日に逝去された。享年88。葬儀は6月2日に密葬にて執り行われた。喪は辞退している。後日、社葬およびお別れの会が予定されている。

確かな品質を証明する“ヨット印”の製品群。

新時代に向けて——
技術革新へのたゆみなき挑戦により、合理化された貫システムの生産ライン、特殊圧造部品の開発など、新時代のニーズに対応しています。

生産品目 4.6 4.8 5.8 6.8 8.8 10.9 各種六角ボルト 特殊圧造部品

日本工業規格認証工場
株式会社 ヨット印・ダイワ
本社・工場 〒581-0042 八尾市南木ノ本1丁目1番地 TEL(072)991-0414(代)・FAX(072)991-0415
営業所 〒552-0001 大阪市港区波除6－4－1 IP電話 050-5539-3978 TEL(06)6581-7504(代)・FAX(06)6582-7504
URL http://www.yds-hp.co.jp

B16 六角ボルト

熱間鍛造品即納
切削品短納期対応
JQA-0080
株式会社 梅田精密
〒552-0007 大阪市港区弁天5丁目17番27号 TEL(06)6571-0781(代) FAX(06)6571-6423

高強度エンジニアリングプラスチックねじ(ファスニー)
FASNY つまみねじ

Maruemu Works 株式会社 丸エム製作所
大東本社 〒574-0015 大阪府大東市野崎4-7-12 TEL.072-863-0100 FAX.072-863-0160 E-Mail:build@maruemu.co.jp
ホームページアドレス http://www.maruemu.co.jp/

納期短縮をお考えなら!
信頼のメーカーブランド Oi

ISO9001 IATF16949 取得
座金組込み六角穴付きボルト
Oi tech オーアイテック株式会社
〒649-6402 和歌山県紀の川市北勢田726番15 TEL:0736-67-8686 FAX:0736-67-8685 https://www.oitech.co.jp/

線材製品あれこれ

素材(線材) 各種鉄線 ステンレス材(国内材、輸入材) 磨棒鋼
各サイズ伸線加工 伸線機……4台 (2.3～18.3φ) ※18.3φ以上は外注加工
各サイズ切断加工 自動直線機……35台 (0.9～28φ) 自動丸鋸切断機… 2台 (6～60φ) プレス切断機 … 6台 プレス曲げ機 … 6台 研磨機……2台 (6～76φ) (切断金属) 15～6000mm
ネジ加工、曲げ加工 NC旋盤……5台 曲げベンダー……6台 切削ネジ切り盤……3台 (M8～M52) ローリングネジ盤……13台 ネジ転造盤(M2～M48)…21台 両面取り機……4台 ブライス盤……3台 鋸クミタルル切断機……1台 鋸クミタルル自動切断機…1台 自動セギリ機……1台 絞り機……1台
出荷 その他 脱振機……1台
FAXいただければ会社案内をお送りいたします。
株式会社 中西商店
本社 〒579-8026 東大阪市弥生町5番3号 TEL.072-981-5915 FAX.072-985-7005 E-mail nakanishishoten@shore.ocn.ne.jp
(ネジ工場 伸線工場 直線工場)
豊富な設備で一貫生産しています 低価格!!

ファスニングの総合メーカーA・Y・F

内ネジケミカルME
■用途
振動器械、大型機械、防蛙、耐震設備機器の据付、足場取り付け・トンネル工事全般。壁支持、高速道路落下防止網の取り付け等、土木工事に幅広く用いられる。

エイ・ワイ・ファスナー株式会社
大阪本社・東京営業所・福岡営業所
〒551-0021 大阪市大正区南恩加島6-17-19号 TEL(06)6555-1610 FAX(06)6555-1670
ISO 9001 JQA JQA-QM8021
あらゆるファスニング工事にお答えできるよう各種サイズを幅広く取揃えています。
一般社団法人 日本建設あと施工アンカー協会 会員